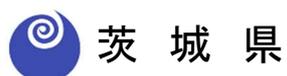


第46回 **全国育樹祭**
2023 誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本

基本計画

令和4年3月



第1章 全体計画

1 全国育樹祭の概要	1
2 茨城県での開催状況	1
3 第46回全国育樹祭の開催方針・基本コンセプト	1
4 大会テーマ	2
5 大会ポスター(原画)	2
6 開催概要	2
7 会場位置図	3
8 広報・協賛等	3

第2章 運営計画

1 運営体制	4
2 新型コロナウイルス感染防止対策	4
3 ICTの活用	4
4 輸送・宿泊	4
5 警備・警護	5
6 消防・防災	5
7 救護・衛生	5
8 参加者サービス	5
9 特産物・観光等展示・販売	5
10 昼食	5
11 荒天時等対応計画	5

第3章 お手入れ行事計画

1 会場の概要	6
2 会場整備・設営	6
3 行事参加者	7
4 行事の概要	7

第4章 式典行事計画

1 会場の概要	8
2 会場整備・設営	8
3 式典参加者	9
4 式典行事の概要	9
5 会場計画図	10

第5章 併催・記念行事計画・その他

1 育林交流集会	11
2 全国緑の少年団活動発表大会	11
3 懇談会(歓迎レセプション)	11
4 記念行事	12

第6章 資料編	13
----------------	-----------

1 全国育樹祭の概要

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、過去に全国植樹祭を開催した都道府県において、昭和52年から国土緑化推進機構との共催で行われています。

育樹祭では、植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木について皇族殿下によるお手入れを行うほか、皇族殿下によるお言葉や各種表彰、参加者の育樹活動等の行事が催されます。

2 茨城県での開催状況

本県では過去に、全国植樹祭が2回、全国育樹祭が1回、開催されています。

- 第27回全国植樹祭（昭和51年5月23日） 大子町 茨城県奥久慈憩いの森
- 第13回全国育樹祭（平成元年10月29日） 大子町 茨城県奥久慈憩いの森
- 第56回全国植樹祭（平成17年6月5日） 潮来市 茨城県水郷県民の森

3 第46回全国育樹祭の開催方針・基本コンセプト

（開催方針）

森林は、木材などの林産物の供給をはじめとして、国土の保全や水源のかん養、さらには地球温暖化の防止など多面的な機能を発揮することにより、私たちに様々な恩恵を与え、安全で豊かな暮らしを営む上で欠かせない存在となっています。こうした機能を十分に発揮するためには、森林を適切に管理し、維持し続ける必要があります、林業はその一助となっています。

このような中、近年、デジタル技術をはじめとした科学技術の発展やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みなど社会環境の変化に伴い、林業・木材産業においても全国的に転換期を迎えています。例示すると

- ・ ICT や新たな機械開発など先端技術を活用したスマート林業の推進
 - ・ 新たな工法や部材開発による中高層建築物への木材利用
 - ・ セルロースナノファイバーや改質リグニンなど新技術の開発と実用化の取組
- が挙げられます。

本県では、戦後植林された人工林が森林資源として充実し、本格的な利用期を迎えており、木を植え、育て、伐採し、木材を有効活用して再び植える「緑の循環システム」の構築を図ることが必要となっています。このため、川上から川下まで一体となって林業・木材産業の成長産業化に向けた取り組みを進めるとともに、茨城県森林湖沼環境税などを活用し、森林の持つ多面的な機能の維持・向上に努めているところです。

こうした取り組みの一層の推進を図るためには、筑波研究学園都市をはじめとする県内の国等の多くの研究機関などに蓄積されている先端技術の活用が必要です。

以上を踏まえ、「未来に繋がる新しい林業の姿を全国に発信する」という考えのもと、第46回全国育樹祭を開催します。

(基本コンセプト)

先述の開催方針を踏まえつつ、「CHALLENGE (挑戦)、CHANGE (変革)、COOL (格好良さ)」をイメージし、コンパクトな育樹祭の開催を目標とします。

CHALLENGE (挑戦)

- ・業務のデジタル化による参加者の利便性向上と効率的な運営

CHANGE (変革)

- ・厳粛かつ簡素化したプログラムの企画と経費の節約

COOL (格好良さ)

- ・シンプルでインパクトのある演出による林業や茨城県の魅力PR

4 大会テーマ

「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」

茨城県立水戸第一高等学校附属中学校 1年 樋之口 尚史 さん
(令和4年用国土緑化運動・育樹運動標語 入選作品)

5 大会ポスター (原画)

茨城県 結城市立結城東中学校 3年 鶴見 彩夏 さん
(令和4年用国土緑化運動・育樹運動
ポスター原画コンクール 特選作品)



※大会テーマ、ポスター原画は国土緑化推進機構主宰のコンクール入賞作品の中から、メッセージ性の強いものを選定いたしました。

6 開催概要

- 主催：茨城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催時期：令和5年（2023年）秋 土日の2日間
- 会場：お手入れ 茨城県潮来市 茨城県水郷県民の森
式典 茨城県水戸市 アダストリアみとアリーナ メインアリーナ
- 内容：
 - ・お手入れ：皇族殿下による、平成17年の全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木へのお手入れ
 - ・式典：皇族殿下によるお言葉や各種表彰、参加者の育樹活動等の紹介
 - ・併催行事：育林交流集会、全国緑の少年団活動発表大会
 - ・記念行事：国民参加の森林づくりシンポジウム、森林・林業・環境機械展示実演会

7 会場位置 (位置図)



(アクセス)

	アダストリアみとアリーナ	茨城県水郷県民の森
最寄り駅	JR 常磐線水戸駅からバスで約15分	JR 鹿島線潮来駅からタクシーで約10分
お車	常磐道水戸ICから約10分	東関東道潮来ICから約10分
航空機	茨城空港からバスで約55分(水戸駅経由)	茨城空港からタクシーで約40分

8 広報・協賛等

(広報)

ポスター、チラシによる周知とホームページやサイネージなどデジタルメディアを効果的に使い、茨城県の魅力・観光案内とともに広く県内外に広報します。

(協賛)

開催趣旨に賛同する企業、団体などを対象に、物品や役務の提供、広報PRへの協力など、広く募集します。

1 運営体制

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、県内外から約2,000人が集う行事であることから、新しい林業の姿と茨城らしさを全国に向けて発信する絶好の機会と捉え、おもてなしの心をもって参加者を迎える体制を整えます。

(1) 実行委員会の設立

県内の関係機関及び団体等が一体となって、全国育樹祭の開催に向けた準備を万全なものとするため、令和4年に「第46回全国育樹祭茨城県実行委員会(以下「実行委員会」という。)」を設置します。

(2) 実施本部の設置

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するため、茨城県各部局や茨城県内関係市町村等と連携し、令和5年に「第46回全国育樹祭茨城県実施本部(以下「実施本部」という。)」を設置します。

(3) 緊急対応

荒天時における式典等の実施判断や非常事態等に緊急対応するための体制を整備します。

2 新型コロナウイルス感染防止対策

感染状況を注視しながら、式典の実施規模や会場、運営方法について適宜見直しするなど、参加者の安全を最優先に万全の感染防止対策を講じます。

3 ICTの活用

招待状の発送や受付等の各業務をシステム化して連携し、参加者の利便性向上と業務の省力化を図ります。また非接触型の来場者管理についても検討します。

遠隔地からの中継等にはインターネットライブを用い、臨場感のある演出とコスト削減を図ります。



4 輸送・宿泊

(1) 輸送

第46回全国育樹祭の開催期間中は、車両借り上げによる輸送を計画します。

計画にあたっては、式典等会場・宿泊地の立地を考慮し、東京駅、茨城空港など交通要所からのシャトルバス提供による参加者の利便性向上を図るとともに、輸送人員の規模に応じ既存バス路線やタクシーを活用するなど、経費削減に努めます。

(2) 宿泊

主に県外からの参加者を対象として、お手入れ行事前日から全国育樹祭式典当日までを基本に配宿を計画します。宿泊施設は、式典会場へのアクセス利便性と個室利用への要望が多いことを考慮し、水戸市内を中心に選定します。

(3)視察（エクスカーション）

茨城県の森林・林業を知っていただくとともに、自然、伝統文化、特産物等茨城の魅力を楽しんでいただけるよう、主に県外からの参加者を対象に日帰りから1泊2日の視察コースを設定し、エクスカーションツアーとして提供します。

(4)駐車場

自家用車利用の参加者が多いことが想定されるため、指定集合地に駐車場を確保します。

5 警備・警護

茨城県警察本部及び関係機関等との緊密な連携により、警備・警護にあたります。

6 消防・防災

会場の消防本部と連携し、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

7 救護・衛生

お手入れ会場、式典会場及び育樹会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生やごみ処理、尿処理等の環境衛生対策、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底します。

8 参加者サービス

JR水戸駅・茨城空港等の要所に案内所を設置し、会場への円滑な誘導や、県内の観光情報の提供などを行い、参加者へのサービスに努めます。



▲茨城国体開催時の案内所

9 特産物・観光等展示・販売

式典会場に「おもてなしコーナー」を設置し、茨城県の特産物の展示・販売や観光情報の提供を行います。

10 昼食

式典で昼食として提供する弁当は、過去に商品化された駅弁や各種キャンペーン等で販売予定の弁当にアレンジを加え提供します。



▲式典弁当イメージ

11 荒天時等対応

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、構成員の招集方法を定め、荒天時等の迅速な対応に努めます。

第56回全国植樹祭（2005年（平成17年）開催）で天皇皇后両陛下（現上皇皇后両陛下）がお手植えになられた樹木を、皇族殿下がお手入れされることで、次世代にわたり森を育てることの大切さを広めることを重視しつつ、形式的な演出にならないよう和やかに執り行います。

1 会場の概要

(1)会場

〒311-2434 茨城県潮来市島須3072-83
茨城県水郷県民の森 野外活動広場



(2)お手植え樹木の状況



2 会場整備・設営

(1)会場整備

会場となる茨城県水郷県民の森で、円滑な運営に必要な整備を行います。

(2)会場設営

開催年度に、第56回全国植樹祭の説明パネル、参加者席、テントなどの仮設物の設置を行います。



▲第56回全国植樹祭の様子

3 行事参加者

行事では、大会会長(参議院議長)や特別招待者、介添えを行う緑の少年団員、公募による参加者など約200人が参加し、会場内の樹木の手入れを行います。

4 行事の概要

(1)皇族殿下のお手入れ会場御着

大会会長(参議院議長)、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、茨城県知事、潮来市長などによりお出迎えをします。

(2)パネル展示などの御覧

第56回全国植樹祭の様子及びお手植え木の育成状況などについてのパネルを展示し、茨城県知事が皇族殿下に説明を行います。

(3)お手入れ

皇族殿下による、天皇皇后両陛下のお手植え木に施肥などのお手入れを行います。



▲秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ
(第43回全国育樹祭(沖縄県))



▲秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ
(第43回全国育樹祭(沖縄県))



▲代表者によるお手入れ
(第44回全国育樹祭(北海道))



▲参加者による記念育樹
(第44回全国育樹祭(北海道))

第46回全国育樹祭の開催方針・基本コンセプトに基づき、「いばらき」らしい祭典となるよう演出します。

1 会場の概要

式典会場は、天候に左右されることがなく、十分な広さと各種機能を有する屋内会場を使用します。

会場：アダストリアみとアリーナ メインアリーナ
(〒310-0034 水戸市緑町2丁目3)
最大収容人数 5,000人



2 会場整備・設営

(1)会場整備

式典会場の整備・設営にあたっては、必要最小限の整備等で効果的な演出が得られるよう工夫しつつ、周囲の景観・環境にも十分配慮し、安全で快適な会場づくりに努めます。

(2)会場設営

仮設物は、会場設備を利用し最小限にとどめます。

なお、式典会場の設営にあたっては可能な限り県産木材を使用します。

ア 主な仮設計画

御席や参加者席などを設営します。

移動可能な客席を活用し、効果的な配席を実施します。



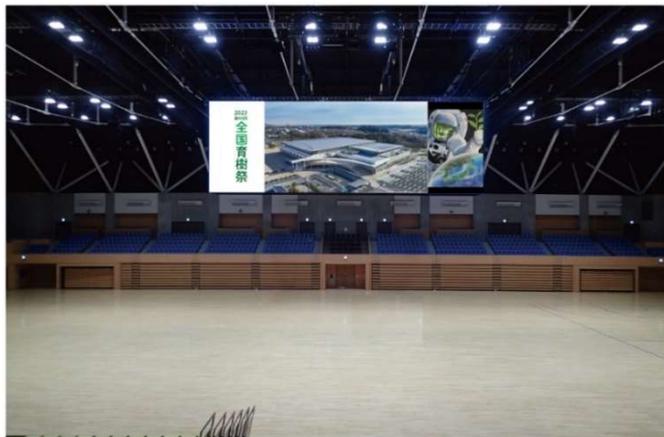
▲第44回全国育樹祭（北海道）

イ 会場装飾・飾花計画

参加者歓迎のため、式典会場及び周辺について統一感のある装飾等を施します。

ウ 演出

つり下げ式映像スクリーンなど、会場備え付けの設備を有効活用し、期待に胸躍るような映像空間で茨城県の森林・林業の特徴を紹介します。



▲大型ビジョン活用イメージ

3 式典参加者

(1) 式典参加者の選考方針

全国育樹祭の開催を契機に、国土緑化運動の継続的な推進と、県民参加の森林づくりの一層の推進を図るため、林業関係者をはじめ、次代を担う青少年、森林づくり活動に取り組む企業、団体、ボランティア、一般公募による参加など、幅広く参加者を募集します。

(2) 参加者の区分、人数、内訳

区 分	人 数	備 考
参加者	県外参加者約1,000人	公益社団法人国土緑化推進機構理事長と茨城県知事の協議による者
		各都道府県知事の推薦による者
	県内参加者約1,000人	実行委員会会長の選考による者
		市町村長の推薦による者
参加者合計	約2,000人	公募による一般参加者
その他	出演者、運営スタッフ等	出演者（司会等） 運営スタッフ

4 式典行事の概要

従来の式典のプログラム構成を見直し時間短縮を図りつつ、式典会場全体として一体感のある式典行事の実施に努めます。

(1) 基本構成

プロローグ、式典、エピローグの3部構成とします。

(2) 各構成

○プロローグ

式典開催前に、県内外からの多数の参加者への歓迎の意を込めつつ、森林を含めた茨城県の魅力を知って頂けるアトラクションを実施します。

○式典《皇族殿下御臨席》

音楽・映像により演出効果を高めるとともに、皇族殿下の御臨席に相応しい厳かな式典とします。

○エピローグ

式典のフィナーレを飾るにふさわしいアトラクションを実施します。



▲秋篠宮皇嗣殿下のお言葉の様子
(第44回全国育樹祭(北海道))

5 会場計画図

アダストリアみとアリーナ 1Fメインアリーナ



○式典レイアウトイメージ



第46回全国育樹祭の開催に併せ、以下の併催・記念行事を行います。

1 育林交流集会

茨城県内外の林業関係者や森林づくり活動に参画する企業、団体、大学、ボランティアや一般参加者など、各界・各層からの幅広い参加者のもとで、森林への関心を高め、森林づくり活動が拡大する契機となるよう、これからの森林づくりについて基調講演、パネルディスカッションなどを行います。

- 主催：茨城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日：式典行事の前日
- 開催場所：茨城県内
- 参加人数：約200人



▲第44回全国育樹祭（北海道）

2 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団と茨城県内の緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さや緑を守る活動を知るため、日頃の活動成果や地域の特色ある活動について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

- 主催：茨城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日：式典行事の前日
- 内容：①活動発表大会
 - ・開催場所：茨城県内
 - ・参加人数：約300人②交流集会
 - ・開催場所：茨城県内
 - ・参加人数：約150人



▲第44回全国育樹祭（北海道）

3 懇談会（歓迎レセプション）

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して懇談会を開催します。

- 主催：茨城県
- 開催日：式典行事の前日
- 開催場所：茨城県内ホテル
- 参加人数：約200人



▲第43回全国育樹祭（沖縄県）

4 記念行事

(1) 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械と機械化による施業の効率化を関係者に一層普及するとともに、一般参加者の関心・理解を高め、担い手を育成する契機とするため、最新の林業機械を中心とした展示・実演を行います。

- 主催：茨城県、一般社団法人林業機械化協会
- 開催日：式典行事の当日、翌日の2日間
- 開催場所：茨城県内
- 参加人数：出展者約600人 見学自由（無料）
- 展示内容：林業・環境機械展示、実演会等



▲第44回全国育樹祭（北海道）

(2) その他の記念行事

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや木とのふれあいを進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を県内で開催します。

ア「国民参加の森林づくり」シンポジウム

- 主催：茨城県、公益財団法人森林文化協会、朝日新聞社、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催時期：令和4年秋季
- 開催場所：茨城県内
- 参加人数：約300人
- 行事内容：基調講演、シンポジウム等

イ育樹行事

- 行事内容：茨城県内各地で施肥等の育樹活動等を適宜行います。



○茨城県の森林・林業

本県の林野面積は約 18.9 万 ha、県土面積 60.97 千 ha に占める林野率は約 31%と森林は少ないものの、人工林率は 59%と比較的高い状態にあります。

これらの人工林において高性能林業機械の導入等による効率的な施業を図っており、年間素材生産量は 42.3 万 m³ と全国的にも比較的多く、林業従事者一人当たり年間生産量は 829m³（全国 2 位）の生産性を有しています。

（参考）主要な統計情報

指 標	数 値	全国順位	基準日	出 典	
県土面積	609.7 千 ha	24	R3. 10. 1	令和 3 年国土地理院 全国都道府県市町村別面積調	
森林面積	189 千 ha	39	R2. 4. 1	茨城県森林・林業の動き	
うち人工林	112 千 ha	35			
林野率	31 %	45	-	（全国順位は平成 29 年時点）	
人工林率	59 %	11	-	（全国順位は平成 29 年時点）	
森林蓄積	人工林	33,604 千 m ³	37	H29. 3. 31	森林・林業統計要覧 2021（林野庁）
	天然林	5,629 千 m ³	43	H29. 3. 31	森林・林業統計要覧 2021（林野庁）
木材産出額	39 億円	18	R2. 12. 31	令和 2 年林業産出額（農水省統計情報）	
素材生産量	423 千 m ³	16	R2. 12. 31	令和 2 年 木材統計（農水省統計情報）	
高性能林業機械	247 台	16	R2. 3. 31	林野庁統計資料	
林業従事者数	510 人	34	H27. 10. 1	平成 27 年国勢調査	

○宮の郷工業団地

常陸大宮市と常陸太田市にまたがる宮の郷工業団地に木材産業団地を整備し、林業地域に近いという立地を生かし、原木市場や製材加工流通施設、木質バイオマス発電所など、林業・木材産業分野に関し多岐に渡る施設を集積し本県の林業・木材産業の中核を担っているほか、令和 3 年には脱プラスチック化に向け研究開発が行われている改質リグニンの実証プラントが竣工されるなど、先端技術の拠点ともなっています。

第46回全国育樹祭 基本計画

令和4年3月発行

茨城県農林水産部林政課

茨城県水戸市笠原町978番6 県庁舎18階

連絡先 029-301-4018